



平成 19 年 9 月 5 日

各 位

所 在 地 東京都港区六本木六丁目 8 番 10 号  
会 社 名 オリコン株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 小池 恒  
(コード番号 4 8 0 0 大阪へラクレス市場)  
問 い 合 わ せ 先 執行役員企業広報部長 日高輝明  
T E L 03-3405-5252 (代表)

## 子会社の異動（譲渡）ならびにそれに伴う特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 9 月 5 日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるフランクリン・ミント株式会社の全株式を譲渡することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、この株式譲渡に伴い、平成 20 年 3 月期中間決算において特別損失を計上することになり、これによって平成 20 年 3 月期中間期および通期の業績予想に修正が生じますので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### I. 子会社の異動

##### 1. 株式の譲渡の理由

フランクリン・ミント株式会社は、平成 17 年 5 月に当社のグループ企業となり、コレクションアイテムを中心とした通信販売を行って参りました。しかしながら、効果的な販促不足による販売不振や商品開発の遅れ等によって 2 期連続で赤字となり、これに伴って平成 19 年 3 月期末に営業権およびソフトウェア類等の減損処理を行ったことで債務超過となりました。当社としては、新社長を送り込み、コスト管理を徹底して行う等、事業の建て直しを進めたことで、今期の第 1 四半期においては営業損失が 4 百万円にとどまり、計画より赤字幅を 24 百万円縮小できたものの、第 2 四半期において 21 百万円、今期の下期にも 20 百万円の営業損失を見込んでおり、来期以降も厳しい状況が続くものと見通さざるを得ません。

一方、当社グループが運営する WEB サイトは 1,000 万人規模のサイトに成長し、モバイル事業や雑誌事業も堅調です。従って、今後は WEB メディア事業を中心としたいいわゆる“本業”に経営資源をシフトさせていくべきとの考え方に立ち、フランクリン・ミント株式会社の全株式を譲渡することといたしました。これによって株式売却損を特別損失として計上することになりますが、下期以降の連結業績においては営業利益ベースでの改善に繋がります。譲渡先としては、マーケティングのノウハウを有し、DM 等のセールスプロモーションツールの制作・配信・配送に実績のあるオペラ株式会社にいたしました。

##### 2. 異動する子会社の概要（平成 19 年 8 月 31 日現在）

- (1) 商号 : フランクリン・ミント株式会社
- (2) 代表者 : 代表取締役 小池恒
- (3) 所在地 : 東京都中央区勝どき三丁目 5 番 4 号
- (4) 設立年月日 : 平成 17 年 5 月 13 日
- (5) 主な事業内容 : 通信販売
- (6) 決算期 : 3 月
- (7) 従業員数 : 11 人
- (8) 資本金 : 50 百万円
- (9) 発行済み株式数 : 1,001 株
- (10) 株主構成 : オリコン株式会社 100%

(11) 最近事業年度における業績の動向

|       | 平成 18 年 3 月期 | 平成 19 年 3 月期 |
|-------|--------------|--------------|
| 売上高   | 582 百万円      | 973 百万円      |
| 営業利益  | △11 百万円      | △113 百万円     |
| 経常利益  | △15 百万円      | △122 百万円     |
| 当期純利益 | △2 百万円       | △219 百万円     |
| 総資産   | 642 百万円      | 625 百万円      |
| 純資産   | 97 百万円       | △121 百万円     |

3. 株式の譲渡先

- (1) 商号 : オペラ株式会社
- (2) 代表者 : 代表取締役 八角義生
- (3) 所在地 : 東京都港区六本木三丁目 16 番 35 号
- (4) 設立年月日 : 平成 12 年 6 月 30 日
- (5) 主な事業内容 : マーケティング企画・コンサルティング、セールスプロモーションツールの制作・配信・配送
- (6) 当社との関係 : 資本関係、人的関係および取引関係はありません

4. 譲渡株式数、譲渡金額および譲渡前後の所有株式の状況

- (1) 異動前の所有株式数 1,001 株 (所有割合 100%)
- (2) 譲渡株式数 1,001 株 (譲渡金額 1 円)
- (3) 異動後の所有株式数 0 株 (所有割合 0%)

5. 日程

- 平成 19 年 9 月 5 日 取締役会決議、株式譲渡契約書締結
- 平成 19 年 9 月 5 日 株式譲渡期日

6. 今後の見通し

フランクリン・ミント株式会社は、現状において債務超過であり、収益力の回復、並びに財務状況の改善に相応の時間と資金が必要であると判断されたため、株式の譲渡金額は 1 円ですが、本日の株式譲渡契約締結後、当社からのフランクリン・ミント株式会社への全貸付金 422 百万円が当社に返済されます。

また、今回の株式譲渡に伴い、平成 20 年 3 月期の間接期において株式売却損 (M&A 費用を含む) を連結で 80 百万円、個別で 110 百万円、それぞれ特別損失として計上する予定です。従いまして、平成 19 年 5 月 21 日に公表した平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (中間期、通期) を次頁「Ⅱ」のとおり修正いたします。

## Ⅱ. 連結業績予想の修正

### 1. 平成 20 年 3 月期中間期業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

|                                   | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益   |
|-----------------------------------|-------|------|------|---------|
| 前回発表予想（A）<br>（平成 19 年 5 月 21 日発表） | 3,030 | 130  | 80   | 40      |
| 今回修正予想（B）                         | 3,030 | 130  | 80   | △40     |
| 増減額（B-A）                          | 0     | 0    | 0    | △80     |
| 増減率（%）                            | 0.0%  | 0.0% | 0.0% | △200.0% |
| 前期実績（平成 19 年 3 月期中間期）             | 2,779 | △97  | △141 | △431    |

### 2. 平成 20 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

|                                   | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益  |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------|
| 前回発表予想（A）<br>（平成 19 年 5 月 21 日発表） | 6,310 | 490  | 400  | 300    |
| 今回修正予想（B）                         | 6,100 | 510  | 420  | 240    |
| 増減額（B-A）                          | △210  | 20   | 20   | △60    |
| 増減率（%）                            | △3.3% | 4.1% | 5.0% | △20.0% |
| 前期実績（平成 19 年 3 月期通期）              | 6,131 | 14   | △79  | △676   |

※当社は個別の業績予想を開示しておりません。

### 3. 連結業績予想数値の修正の理由

「Ⅰ」に記載のとおり、今回の株式譲渡によって株式売却損 80 百万円が中間期および通期の連結業績において特別損失として計上される見込みです。

また、平成 19 年 5 月 21 日発表の通期連結業績予想は、フランクリン・ミント株式会社が下期において、売上高 210 百万円、営業損失 20 百万円をそれぞれ計上することを前提としておりましたが、今回の譲渡に伴い、これらが通期の連結業績に反映されなくなります。

以上の事由により、中間期および通期の連結業績数値を修正するものであります。

（注）上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。

以上